



## 2020年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年5月14日

上場会社名 株式会社フィックスターズ 上場取引所 東  
 コード番号 3687 URL https://www.fixstars.com/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三木聡  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 堀美奈子 TEL 03-6420-0751  
 四半期報告書提出予定日 2020年5月14日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年9月期第2四半期の連結業績 (2019年10月1日～2020年3月31日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第2四半期	2,946	△18.7	651	△3.7	651	△3.7	399	△11.7
2019年9月期第2四半期	3,622	52.9	676	40.1	676	39.4	452	27.9

(注) 包括利益 2020年9月期第2四半期 421百万円 (△9.5%) 2019年9月期第2四半期 465百万円 (33.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第2四半期	12.10	12.10
2019年9月期第2四半期	13.69	13.67

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年9月期第2四半期	4,428	3,571	78.6	105.37
2019年9月期	4,154	3,360	79.2	99.56

(参考) 自己資本 2020年9月期第2四半期 3,482百万円 2019年9月期 3,288百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	-	0.00	-	7.50	7.50
2020年9月期	-	0.00	-	-	-
2020年9月期 (予想)	-	-	-	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年9月期の連結業績予想 (2019年10月1日～2020年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,384	△8.4	1,059	△19.5	1,044	△20.4	579	△33.5	17.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 1社（社名）Sleek, Inc.、除外 1社（社名）－  
なお、特定子会社の異動には該当していませんが、株式会社Smart Opinionは第1四半期連結会計期間において設立したため、オスカーテクノロジー株式会社は当第2四半期連結会計期間において株式を取得したため、それぞれ連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年9月期2Q	33,610,000株	2019年9月期	33,610,000株
② 期末自己株式数	2020年9月期2Q	560,659株	2019年9月期	582,710株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年9月期2Q	33,036,303株	2019年9月期2Q	33,063,826株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表時点において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料は、TDnetで同日開示し、当社ウェブサイトに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、足元で大幅に下押しされており、先行きについても感染症の影響による厳しい状況が続くと見込まれております。また、海外経済につきましても、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響により、経済活動が急速に減速しており、先行きについても、さらに下振れするリスクがでてきております。

このような経営環境下、当社のソフトウェア開発技術を活用し未来社会の構築に貢献すべく「Speed up your Business」をスローガンに掲げ、コンピュータの性能を最大限に引き出し大量データの高速処理を実現するソフトウェア・サービス、及び関連ハードウェア等を提供しております。

主力のソフトウェア・サービス事業では、ソフトウェア開発・高速化サービスにおいて、自動運転を対象としたアルゴリズム開発や高速化案件、半導体メーカー向けソフトウェア開発案件が長期安定して継続しております。加えて、AIによるソフトウェア開発マネジメントサービスや量子コンピュータに関連する研究開発を行い、SaaS等の新たな収益モデルの確立に取り組んでおります。

当社グループが開発したソフトウェア等が稼働するハードウェア基盤を開発、提供するハードウェア基盤事業では、画像処理プロセッサ搭載演算ボード等の量産納入を中心に、引き続き安定して受注しております。

海外事業では、米国子会社のFixstars Solutions, Inc.が日本のお客様の米国業務の一翼を担う一方、研究機関等を対象とした高速化案件の拡大に取り組んでおります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、2,946,995千円（前年同期比18.7%減）、営業利益651,801千円（前年同期比3.7%減）、経常利益651,304千円（前年同期比3.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益399,885千円（前年同期比11.7%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、以下の数値はセグメント間の取引消去後となっております。

## ①ソフトウェア・サービス

Semiconductorの分野では、モバイル機器やデータセンタ等で利用の進むNANDフラッシュメモリを対象として、ファームウェア及びデバイスドライバの開発等を行っております。Mobilityの分野では、自動運転を対象としたアルゴリズム開発及び高速化案件や、次世代モビリティに関連する研究開発及び高速化支援を行っております。Life Scienceの分野では医療画像診断装置における高精細画像のリアルタイム処理やゲノム解析、Financeの分野ではリスク計算やHFTの高速化支援を提供しております。

また、マルチコア並列処理技術に強みを持つオスカーテクノロジー株式会社の株式の取得、子会社化を通じて、新たな高速化・省電力化ソリューションの提供を進めております。

この結果、売上高は、2,505,148千円（前年同期比14.8%増）、セグメント利益（営業利益）は、627,479千円（前年同期比19.0%増）となりました。

## ②ハードウェア基盤

画像処理プロセッサ搭載演算ボード等の量産納入が継続する一方で、画像処理向けストレージ・サーバ等のスポット案件が減収となりました。

この結果、売上高は、441,847千円（前年同期比69.3%減）、セグメント利益（営業利益）は、24,322千円（前年同期比83.7%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産・負債及び純資産の状況

## (総資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて274,595千円増加し、4,428,606千円となりました。これは、売掛金が645,419千円増加した一方で、電子記録債権が303,994千円減少したこと等が主な要因であります。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて62,932千円増加し、856,871千円となりました。これは、買掛金が48,778千円増加したこと等が主な要因であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて211,663千円増加し、3,571,734千円となりました。これは、利益剰余金が152,180千円増加したこと等が主な要因であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ232,488千円減少し、1,468,554千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は123,179千円(前年同期は94,078千円の減少)となりました。税金等調整前四半期純利益651,304千円を計上したものの、売上債権の増加(△340,934千円)、法人税等の支払(△265,249千円)等の要因があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は113,244千円(前年同期比392.6%増)となりました。これは主に、事業譲受及び子会社株式の取得に伴う支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は244,392千円(前年同期比50.8%減)となりました。これは主に、配当金の支払(△246,414千円)によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年9月期の業績予想につきましては、2019年11月12日付の「2019年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました通期の業績予想から変更ありません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,701,043	1,468,554
電子記録債権	670,785	366,791
売掛金	1,161,946	1,807,366
たな卸資産	10,320	9,687
その他	34,388	90,014
流動資産合計	3,578,485	3,742,414
固定資産		
有形固定資産	57,137	88,063
無形固定資産		
のれん	—	94,797
その他	9,255	7,364
無形固定資産合計	9,255	102,161
投資その他の資産		
投資有価証券	75,873	85,165
繰延税金資産	100,675	73,302
敷金及び保証金	332,583	337,498
投資その他の資産合計	509,133	495,966
固定資産合計	575,525	686,192
資産合計	4,154,010	4,428,606
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	121,801	170,579
未払法人税等	280,279	221,654
賞与引当金	119,146	40,390
その他	272,712	388,520
流動負債合計	793,939	821,146
固定負債		
その他	—	35,725
固定負債合計	—	35,725
負債合計	793,939	856,871
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	552,968	552,968
資本剰余金	456,225	467,913
利益剰余金	2,841,169	2,993,350
自己株式	△552,456	△531,574
株主資本合計	3,297,906	3,482,657
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,603	19,050
為替換算調整勘定	△22,223	△19,291
その他の包括利益累計額合計	△9,619	△241
非支配株主持分	71,784	89,318
純資産合計	3,360,071	3,571,734
負債純資産合計	4,154,010	4,428,606

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
売上高	3,622,837	2,946,995
売上原価	2,344,625	1,600,815
売上総利益	1,278,211	1,346,180
販売費及び一般管理費	601,456	694,379
営業利益	676,755	651,801
営業外収益		
受取配当金	487	487
為替差益	1,420	—
助成金収入	—	237
その他	668	270
営業外収益合計	2,575	995
営業外費用		
支払利息	2,599	352
為替差損	—	990
その他	659	149
営業外費用合計	3,258	1,492
経常利益	676,072	651,304
税金等調整前四半期純利益	676,072	651,304
法人税、住民税及び事業税	198,681	214,616
法人税等調整額	△539	24,644
法人税等合計	198,142	239,260
四半期純利益	477,929	412,043
非支配株主に帰属する四半期純利益	25,274	12,157
親会社株主に帰属する四半期純利益	452,655	399,885

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益	477,929	412,043
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,469	6,446
為替換算調整勘定	△6,827	2,931
その他の包括利益合計	△12,296	9,378
四半期包括利益	465,633	421,421
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	440,359	409,263
非支配株主に係る四半期包括利益	25,274	12,157

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	676,072	651,304
減価償却費	24,631	26,183
のれん償却額	—	6,130
賞与引当金の増減額(△は減少)	△17,467	△78,902
受取利息及び受取配当金	△492	△495
支払利息	2,599	352
為替差損益(△は益)	△1,312	458
売上債権の増減額(△は増加)	△631,616	△340,934
たな卸資産の増減額(△は増加)	24,244	636
仕入債務の増減額(△は減少)	55,242	48,747
その他	△54,509	74,804
小計	77,391	388,285
利息及び配当金の受取額	492	495
利息の支払額	△2,599	△352
法人税等の支払額	△169,363	△265,249
営業活動によるキャッシュ・フロー	△94,078	123,179
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△22,988	△12,429
事業譲受による支出	—	△50,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△43,439
その他	—	△7,376
投資活動によるキャッシュ・フロー	△22,988	△113,244
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
株式の発行による収入	1,800	—
非支配株主からの払込みによる収入	—	14,000
自己株式の取得による支出	△265,400	△71
配当金の支払額	△230,805	△246,414
非支配株主への配当金の支払額	△2,153	△8,623
その他	—	△3,283
財務活動によるキャッシュ・フロー	△496,559	△244,392
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,704	1,969
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△618,330	△232,488
現金及び現金同等物の期首残高	1,676,189	1,701,043
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,057,859	1,468,554

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	ソフトウェア ・サービス	ハードウェア 基盤	
売上高			
外部顧客への売上高	2,182,403	1,440,434	3,622,837
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	2,182,403	1,440,434	3,622,837
セグメント利益	527,123	149,631	676,755

(注) セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	ソフトウェア ・サービス	ハードウェア 基盤	
売上高			
外部顧客への売上高	2,505,148	441,847	2,946,995
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	2,505,148	441,847	2,946,995
セグメント利益	627,479	24,322	651,801

(注) セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「ソフトウェア・サービス」セグメントにおいて、Sider株式会社からの事業譲受及びオスカーテクノロジー株式会社の株式取得に伴いのれんを計上しております。当該事象によるのれんの発生額は、当第2四半期連結累計期間においてはそれぞれ49,044千円、51,883千円であります。

(重要な後発事象)

(多額な資金の借入)

当社は、2020年4月1日開催の取締役会において、資金の借入を行うことを決議し、実行いたしました。当該借入の内容は次のとおりであります。

1. 借入の理由

新型コロナウイルスの感染拡大と影響の長期化に備えて、財務基盤をより一層強固なものにするために運転資金を手厚くするものであります。

2. 借入の概要

- |           |                       |
|-----------|-----------------------|
| (1) 借入先   | 三菱UFJ銀行、みずほ銀行、三井住友銀行  |
| (2) 借入金額  | 40億円                  |
| (3) 借入実行日 | 2020年4月10日～2020年4月20日 |
| (4) 借入利率  | 基準金利＋スプレッド            |
| (5) 借入期間  | 5年間                   |
| (6) 担保の有無 | 無担保無保証                |